

経済建設委員会 視察レポート

視察テーマ

九州農業WEEK視察研修

九州農業WEEK

2023年 5月24日(水)～26日(金)
May 24(Wed)～26(Fri), 2023

九州農業資材 EXPO AGRITECH KYUSHU
九州スマート農業 EXPO AGRINEXT KYUSHU
九州畜産資材 EXPO LIVESTOCK KYUSHU



また、農業の人手不足や後継者問題など、様々な問題を抱える中スマート農業化による新たな仕組みや、負担軽減のための機械など次代の流れを感じました。今回の視察で、さらなる農業の発展を感じることができ、これから町の農業の発展に寄与できればと考えます。

令和5年5月24日に経済建設常任委員会において、第一回九州農業WEEKの視察研修を行いました。農業用ドローンやハウス内環境の自動システム、6次産業化を進める上で必要な機材システムなど、今後の農業の形を考える上での知見を養うことができました。

経済建設委員会 意見交換会

大津町企業連絡協議会との意見交換



中でも、人材確保や工業用水道に関しては、喫緊の課題である点を企業連絡協議会と共有することができました。

今回の意見交換会を通じて、企業の発展を更に後押しし、工業の躍進の一助となるよう努めます。

令和5年6月28日に経済建設常任委員会と大津町企業連絡協議会と意見交換会を行いました。意見交換会内では、人材確保を行う上での問題点に関するご意見や町内高等学校からの採用状況、渋滞の解消に関するご意見、工業用水道と下水道に関するご要望を頂戴しました。

議会活性化検討会議

次回はぜひ「投票」ができる選挙を

議長の諮問を受け、4項目について検討・答申

議会活性化検討会議※1は昨年12月から、前回選挙の無投票を踏まえ、議会の活性化について議員のなり手不足の視点から議論し、4つの項目について今後の取り組みや方策案を議長に答申しました。今後は議会としてこの答申をもとに議論を加え、方針・施策を決定し、実行していくことになります。

○実現したいこと
△検討すべきこと

項目	なり手不足解消の視点からの意見	答申の骨子(方策案)
町民との接点(交流・情報発信)	- 議会・議員の活動が知られていないことが影響している。 - 個々の議員活動についての発信が求められている。	○議会ホームページを充実させる。 ○議員の日常活動の報告の場をつくる。 △議員個人のSNSなどのリンク集の提供を検討する。
議員定数	・無投票だった事も踏まえ、定数を削減する必要があるのではないか。 ・定数の減が必ずしもなり手不足の解消につながっていない実態がある。 ・定数減による無投票回避では民意を反映することにはならない。 ・人口・財政規模が増大するなか、議員数の減は不合理。	○現在の定数は妥当であり、今後の町の変化への対応のため少なくとも現状の維持は必要。 △議員数を減らすことによって生じる弊害についても認識すべき。
議員報酬	・なり手確保のために、特に若い、子育て世代での生計の一定部分を保障する額が必要。 ・全国町村議会議長会なども、なり手不足解消に向けた増額を示唆し、具体的な算出方法等※2も提示している。	○増額を検討すべき。それにあたっては議長会モデルなど合理的な算定手法などデータを示し、「特別職報酬等審議会」において審議することを求める。 △並行して議員の活動の見える化に取り組むことが不可欠と考える。
政務活動費	・議員の活動量が増えた状態では必要ではあるが事務的な煩雑さも伴う。 ・現状では議員報酬が活動経費をも含んでいる状態であり、議員報酬との関連性がある。	○必要性は高いが、運用の煩雑さがネックとなるため慎重に考える。 △上記の審議会の検討・結論を踏まえて再度議論すべき。

住民との意見交換会を実施

検討会議の議論の過程では、議員インターンシップを経験した学生さんやまちづくり活動に取り組む方などに集まっていただきご意見をいただきました。

議員のなり手不足の視点からの意見を求めたところ、やはり「議員の日頃の活動の見える化」が必要との意見が多く聞かれました。

※1 議会活性化検討会議：このテーマの検討のため議長の指名した5人の議員による非公式な会議体。(佐藤、山本、大塚、田代、大村)

※2 具体的な算出方法：全国町村議会議長会が提示した議員報酬算定の考え方



議員定数や議員報酬などへのご意見ご感想をお寄せ下さい。

gikai@town.ozu.kumamoto.jp ☎096-293-8989 議会事務局

